

秋の全国交通安全運動 9月21日(金)～30日(日)

運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

※9月30(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

運動の重点

- ①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止 (特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
- ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③飲酒運転の根絶



平成25年使用 交通安全年間スローガン(標語)の募集

- 募集期間** 平成24年7月初旬～「秋の全国交通安全運動」最終日の9月30日まで(必着)
- 募集部門**
 - 一般部門 …… A.運転者(同乗者を含む)に対するもの B.歩行者・自転車利用者に対するもの
 - こども部門 …… 小、中学生自身に交通安全を呼びかけるもの
- 応募資格**
 - 一般部門 …… 一般及び学生(小・中学生の応募も可)
 - こども部門 …… 小・中学生に限る

- 主催：(財)全日本交通安全協会 毎日新聞社
- 後援：内閣府 警察庁 法務省 文部科学省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 NHK
- 協賛：JA共済連 (一社)日本自動車工業会

応募方法 はがき1枚ごとに、①応募部門 ②スローガン1点(句読点は付けない) ③住所 ④氏名 ⑤生年月日 ⑥職業(学校名・学年) ⑦電話番号を明記する。(小・中学生は学校所在地、電話番号、学年を併記) 作品は自作、未発表のものであること。(過去の入賞作や他で公表・使用されたスローガンと同一ないし酷似と判断された場合は審査対象外)応募数に制限はなく、個人が複数作品を応募する場合は、はがきと同程度の大きさ、厚さの用紙を使用しての一括送付可。学校、企業・団体単位で募集する場合も一括送付可。その場合は、1作品ごとに学校名と学年あるいは企業・団体名のほか、所在地、電話番号、応募担当者(教諭等)名を明記すれば、応募者本人の住所・電話番号の記載は不要。

発表 平成24年11月下旬の毎日新聞紙上およびNHKテレビ、ラジオ

賞 内閣総理大臣賞(最優秀作)、内閣府特命担当大臣賞(優秀作)、警察庁長官賞(優秀作) 文部科学大臣奨励賞(優秀作)、全日本交通安全協会会長賞(佳作)

送り先 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社事業本部「交通安全年間スローガン」係 (☎03-3212-0190) ※詳細は、(財)全日本交通安全協会のホームページをご覧ください。



この広報紙は、(一社)自販連三重県支部並びに三重県軽自動車協会のご協力を得て発行しています。



(財)全日本交通安全協会作成による「交通安全ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマーク」です。

(財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2012 / 中秋号 No.178

発行所

(財)三重県交通安全協会 三重県交通安全活動推進センター (三重県公安委員会指定)

〒514-0004 津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F TEL 059-228-9636 URL <http://www.mie-ankyo.com/>

北から南から～各地区の活動～

交通安全協会は交通事故を防止するために幅広い活動を行っています。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 保育・幼稚園、小・中学校への交通安全資器材等の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

大台地区交通安全協会と鳥羽地区交通安全協会の2地区の活動は、P2にズームアップ!



わたしはシンボルマスコット“ストッピー”です。



イオンマイカル桑名にて自転車のシュミレータ体験実施



ドライバーへ過労運転防止のための瞬間冷却剤を配布



「四九の市」の会場で納涼うちわを配布し事故防止呼びかけ



ピカット・キッパリ「安全安心ソング」CD寄贈



女性部が浴衣姿でドライバーへ事故防止呼びかけ



道の駅においてドライバーへ冷茶サービス



親子で楽しみながら学ぶ親子交通安全教室の開催



店舗でのミルミルウェアでドライバーへ事故防止呼びかけ



きゅーとらー志店において買い物客の自転車安全点検実施



チャイルドシート着用推進モデル幼稚園指定式



交通安全フェスタにて魔法のキーホルダー作成コーナー



シートベルト反射材着用推進モデル老人クラブ指定式



飲酒運転根絶及びシートベルト着用をドライバーに呼びかけ



自転車ルール遵守キャンペーン



通勤のドライバーにミルミルウェアで事故防止呼びかけ



ハンドルキーパー運動推進モデル事業所指定式

交通安全協会の活動は、皆様からのご支援・ご協力により、支えられています。

大台地区交通安全協会

毎月21日の反射材デーの日にタイムサービス!



～反射材着用客にタイムサービス!～

管内の店舗に協力を求め、毎月21日に反射タスキ・リストバンドを着用して来店されるお客様へのサービスとして、ポイントシール2倍やたまご1パックプレゼントなどの特典を設け、反射材の着用意識の高揚を図るほか、店舗前では買い物客に反射材用品を配布し、その着用指導に努めています。



鳥羽地区交通安全協会

ストップマークの貼付け!



～子どもたちの安全を願って～

子どもたちに危険箇所の認識を高めてもらい交通事故に遭わないよう、危険箇所に貼付している「あぶない!! とびだし」のストップマークを張り替えました。活動に参加した安協女性部員らは、「子どもたちが飛び出しに注意し、事故が防げたら嬉しい」と貼り替えたマークに熱い期待を寄せています。

第40回 二輪車安全運転三重県大会

自分自身の腕だめし!



ちどり走行

平成24年6月3日(日)、三重中央自動車学校にベテラン選手から初参加の選手まで総勢47名が集結、自慢の腕前を競い合いました。各クラスの選手は一度だけのアタックチャンスに意識を集中させ、バイクと一体となって競技にチャレンジしました。競技の結果、次の方々が優勝し、全国大会への出場権を得ました。

若年クラス 平見 大樹 女性クラス 真鍋 智香

一般Aクラス 力石 展精 一般Bクラス 小林 敬典

(敬称略)

決戦の鈴鹿サーキット!

県大会で優勝し、代表に選ばれた各選手は、県大会終了後から更なる技術の向上を図るべく訓練を重ね、平成24年8月4日(土)、5日(日)の両日、鈴鹿サーキットで開催された「第45回二輪車安全運転全国大会」に臨みました。強豪選手ぞろいの中、当県チームは、団体で12位、個人では、高校生クラスの平見大樹選手が8位入賞、一般Aクラスの力石展精選手が7位入賞と健闘しました。

大会の成績結果

- 全国優勝 東京都
- 第2位 埼玉県
- 第3位 千葉県

三重県代表チーム!



第46回 交通安全子ども自転車三重県大会

絶対優勝するぞ!



学科テスト

平成24年6月23日(土)、県下18地区の代表校の選手たちはそれぞれの意気込みを胸に、津市芸濃町総合文化センター内アリーナに集結しました。子どもたちは、緊張しながらも学科テストと実技テストに真剣に臨み、競技中も結果発表時にも、応援席から大きな歓声が上がると、選手たちに惜しみない拍手が送られました。

頑張った選手の皆さん、一生懸命指導・応援してくださった関係者の方々、本当にありがとうございました。団体の成績結果は次のとおりです。

優勝 松阪市立松尾小学校(松阪) 第4位 大紀町立錦小学校(大台)

第2位 桑名市立精義小学校(桑名) 第5位 川越町立川越南小学校(四北)

第3位 鈴鹿市立白子小学校(鈴鹿) 第6位 伊賀市立上野東小学校(伊賀)

いざ、全国大会へ!

平成24年8月1日(水)三重県大会を制した松阪市立松尾小学校の選手たちは、東京ビッグサイトで開催された「第47回交通安全子供自転車全国大会」に臨み、第35位と健闘しました。

大会の成績結果

- 全国優勝 山形県
- 第2位 長野県
- 第3位 福島県



三重県代表 松尾小学校のメンバー

当日は、「松阪牛が自転車に乗った」デザインのユニフォームを着用して気持ち十分!

三輪車の交通事故を防ぐ

二輪車乗車中の死傷者数は、ここ10年の状況を見ますと減少傾向にありますものの、依然として多くの交通事故が発生しています。

自動二輪車と原動機付自転車の致命的弱点は、車体が小さいために四輪自動車から見落とされやすいことです。

ライダーの皆さんが思っているほど車のドライバーは二輪車の存在を認識できていない可能性があります。

二輪・原付のライダーの皆さんは、「思っているほど、クルマから見られていない」という現実を認識し、自らの安全を確保するための防衛運転に努めていただくことが大切です。

例えば... 先行する右折車の左わきを直進するとき

- 先行する右折車は対向車線の右折車にとって視野障害になりがちです。
- 対向右折車が横断中の歩行者に気をとられ、直進する二輪車に気づかないこともあります。



例えば... 交差点で右折するとき

- 対向車線の直進車のドライバーはバイクの接近を認識できていても、バイクの速度を実際より遅く感じたり、バイクまでの距離を遠く感じているかもしれません。
- 対向する直進車がわき見をして、バイクに気づくのが遅れることもあります。



二輪車の交通事故(三重県内)

区分	平成21年	平成22年	平成23年
人身事故件数	1,379	1,349	1,168
死者数	16	17	14
負傷者数	1,319	1,288	1,111
死傷者率	8.8	8.7	8.1

二輪車は、風を感じ、季節を感じながら走行できる楽しい乗り物でもあります。一方では、四輪車から見落とされたり軽視されたりしがちな乗り物です。実際、二輪車の事故の7割は第二当事者となっています。そうしたことから事故多発地帯の交差点や駐車場の出入口などの場所では、常に「見落とされているのでは?」との意識を持って危険予測に努めるなど、自分を守る運転に徹することが大切です。

● 自分をしっかりアピールするポイント

- ・ 他車から見て目立つ服装や反射材付きの装備を着用しましょう。
- ・ 昼間でも「ヘッドライト」を点灯させましょう。
- ・ 後続車に停止や徐行を知らせるブレーキ操作と停止中のブレーキをしっかりとかけましょう。

三重県中央自動車学校 教習部 川井 伸幸

夏の交通安全県民運動実施結果 7月11日~20日

	平成24年	平成23年	増減数
総事故件数	1,810	1,830	-20
人身事故件数	282	309	-27
死者数	2	1	+1

期間中の死者数は2件2人(前年同期間比+1件、+1人)で、横断歩行中の高齢者が1人、自動車運転中の方1人が亡くなりました。運動終了日現在の累計では全死者数は41人でその半数近くを高齢者が占めています。

